

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防団活動事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課						所属長	山下明子				
会計情報	事業コード	550286	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	206	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和22年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	消防団は「地域密着性」「要員動員力」「即時対応力」を持ち、地域防災の要として市民の安心安全のため、大きな役割を果たしていることから、消防団の活動環境をしっかりと整備し、地域の消防力の強化を図る。												
対象者	消防団員	対象者数	1,651	単位あたりコスト	67.5								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	消防団員報酬、出勤費用弁償の支給 消防団活動資機材、備品の購入 消防団車両の維持管理(車検整備、法定点検、燃料費、修繕) 消防団関係団体分担金の支払 特財名称:消防団員安全装備品整備等助成事業 種類:雑入 実績金額:691千円 決算付属資料:48												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	報酬	46,176	消防団員報酬、機関手当										
	旅費	9,924	消防団員出勤費用弁償、実費弁償										
	需用費	15,801	消耗品費、燃料費、車両修繕、備品修繕										
	備品購入費	2,845	車両用消火器、AED、消火用ホース										
	役務費 他	8,240	郵送料、車検等点検手数料、自動車損害保険、自動車重量税、関係団体年会費等										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	95,451	92,405	90,317	125,427				
	② 補正予算	0	△ 1,834	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	95,451	90,571	90,317	125,427					
予算財源内訳	① 一般財源	95,366	81,082	90,235	125,347				
	② 国支出金	0	300	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	85	9,189	82	80				
決算情報	① 流充用額	△ 2,936	0	0	0				
	② 配当予算	92,515	90,571	0	0				
	③ 執行額	82,014	82,985	0	0				
	④ 執行率	88.7%	91.6%						
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	4.67 / 0.90	3.27 / 0.95	3.27 / 0.95	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	39,610	28,535	28,535	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	121,624	111,520	28,535	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	消防団活動事業(消防団設備整備費補助金)	種類	消防費国庫補助金	実績金額	421	決算付属資料	22	頁
		消防団活動事業基金繰入(過疎地域自立促進基金繰入金)		基金繰入金		3,565		40	
		消防団活動事業基金繰入(ふるさと納税基金)		基金繰入金		5,533		42	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	消防団員の条例定員に対する充足率	%	82/ 100	80 / 100	93 / 95	/ 95	95
	災害出動件数	件	29	29 /	26 /	/	
	単位あたりコスト		3235.0	2828.1	3191.7		
	単位あたりコスト		/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域の安心安全を守るうえで不可欠な消防団員の報酬、活動環境の整備はなくてはならないものであり、今後も維持継続していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	消防団からの様々なニーズを的確に捉え、限られた予算内で最大限の活動環境を整備できるよう、消防団との連携を密に実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防団活動に必要とする、資機材、車両の維持管理など適切に実施しており、また、年間報酬及び出動費用弁償の支給も滞りなく行っており、地域の消防力の維持強化につながっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域防災の要として活動をする消防団を支援する事業であるが、近年の消防団員の減少、高齢化が著しく進んでいる。今後の消防団活動に影響を及ぼさないよう他の事業とも連携しながら事業内容について更に工夫、検討する必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	消防団員減少に歯止めが利かない状況であり、このまま減少傾向が続けば消防団活動に影響が及ぶことが考えられる。また、新型コロナウイルス感染症により消防団活動が制限されることが多くあり、必要とされる訓練が十分に果たせなかった部分もある。このような中、近年多発する大規模災害にも耐える組織づくりとなるよう、消防団の活動について見直しが必要な時期となっている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	少子高齢化、人口減少が進む中、消防団員の確保が困難となっており、消防団員の確保に向けて処遇の改善を実施し、併せて増加する大規模災害に対して、活動しやすい環境、資機材の整備を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防活動事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課					所属長	山下明子					
会計情報	事業コード	550285	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化												
対象者	全市民					対象者数	78,935		単位あたりコスト	4.4			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	大槻ポンプ工業株式会社福知山営業所												
事業概要 (箇条書き)	火災や救助、水難などの災害対応の実施 消防業務にかかる各種事務 必要な資機材、装備品の整備 車両の維持管理 職員の活動環境の整備 消防関係団体との連携、調整 など												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	需用費	11,906	消耗品費、燃料費、車両修繕、備品修繕等										
	役務費	3,047	車検等点検手数料、自動車損害保険、消防業務賠償責任保険等										
	備品購入費	4,320	庁舎・機械器具等備品購入(防火衣、プリンター、消火用ホース、安全帯等)										
	委託料	209	設備等保守点検(高压空気製造設備定期検査)										
	負担金補助及び交付金他	1,281	旅費、高速道路使用料、関係団体年会費、自動車重量税等										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	25,187	22,430	24,101	26,065				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	25,187	22,430	24,101	26,065					
予算財源内訳	① 一般財源	22,887	19,929	21,701	23,665				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2,300	2,501	2,400	2,400				
決算情報	① 流充用額	△ 329	△ 1377	0	0				
	② 配当予算	24,858	21,053	0	0				
	③ 執行額	23,164	20,764	0	0				
	④ 執行率	93.2%	98.6%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	40.22 / 0.20	41.00 / 0.00	41.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	322,260	328,000	328,000	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	345,424	348,764	328,000	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	申請証明手数料	種類	消防手数料	実績金額	3,010	決算付属資料	16	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
本事業に起因する活動支障発生回避率	指標	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	全出動件数(火災・救急・救助)	件	3645	3571	3194	/	
	単位あたりコスト		7.0	6.5	6.5		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	消防業務の推進は市町村の義務であり、適切かつ確に実施する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	常に費用対効果と必要性について調査研究、工夫し、無駄なく最小限の費用で有効な消防活動が実施できるよう取り組んでいる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	真に必要な経費を計画的に計上し、適切に執行することで、消防活動の安定的な稼働につなげている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>予算を計画的かつ適切に執行するとともに、職員自らの知識や技能を生かすことで、投資効果をより高めるように取り組んでおり、限りある経費の有効な配分をはかり、効果的で効率的な消防活動や消防業務を推進している。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>今後も計画的な予算の計上と適切な執行を行うことで資機材や車両等必要な装備、機材を整備・維持管理していく。加えて職員の知識や技能を更に向上することにより、その効果や有効性を更に高め、しっかりと消防業務を展開していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防防災センター管理事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課					所属長	山下明子					
会計情報	事業コード	550272	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	消防庁舎改修事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化															
対象者											対象者数			単位あたりコスト		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()															
委託先・実施主体等	フジテック株式会社近畿統括本部京滋支店、ニシハツ株式会社、株式会社丹新ビルサービス、都築テクノサービス株式会社北京支店 他															
事業概要 (箇条書き)	消防活動の拠点となる福知山市消防防災センター(福知山市消防本部・福知山消防署)の庁舎施設維持管理															
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容													
	需用費	10,778	消耗品、施設備品等修繕料、電気料、上下水道料、ガス使用料													
	役員費	1,486	損害保険料、通信・電話料、ごみ廃棄手数料、郵送料													
	委託料	2,283	庁舎各設備等保守点検(エレベーター、自家発電設備、空調等)													
	使用料及び賃借料	460	NHK受信料、複写機等使用料													
	備品購入費	280	庁舎用備品購入(事務用机等)													

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	18,408	15,951	20,755	19,744				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①~③)	18,408	15,951	20,755	19,744				
予算財源内訳	① 一般財源	16,481	14,006	18,744	18,111				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,927	1,945	2,011	1,633				
決算情報	① 流充用額	△ 27	9	0	0				
	② 配当予算	18,381	15,960	0	0				
	③ 執行額	18,231	15,286	0	0				
	④ 執行率	99.2%	95.8%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.54 / 0.00	1.12 / 0.00	1.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	12,320	8,960	8,960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	30,551	24,246	8,960	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	庁舎管理事業(地方創生臨時交付金)	種類	消防費国庫補助金	実績金額	68	決算付属資料	18	頁
		土地貸付収入(消防本部)		財産貸付収入		154		34	
		自動販売機設置貸付収入		財産貸付収入		1,727		34	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	施設等に起因する活動支障発生回避率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防署出動件数(火災・救急・救助)	件	1771	1758	1537	/	
	単位あたりコスト		12.4	10.4	9.9		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	消防救急体制の確保は市町村の義務であり、そのための消防施設の維持管理を適切かつ的確に実施する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	消防施設の適切な維持管理に必要な経費について、その必要性を十分に精査し、職員の創意工夫により安易に業務を委託することなく経費節減を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防活動に支障を来すことのないように常に維持管理を適切に図り、活動しやすい環境の整備に努めることで消防力の維持強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	常に迅速な災害対応が実施できるよう、職員による日々の庁舎・施設・設備の維持管理は適切に実施できている。		
これまでの課題及び今後の方向性	消防に対するニーズは社会情勢や自然環境の変化に伴い常に変化し、それに伴い求められる消防活動も変化し高度化するため、その活動拠点である庁舎の適切な維持管理は大変重要であるが、平成24年に大規模災害にも対応可能な機能を備えた災害対応の拠点として整備した当該施設も、修繕等の必要箇所も増加してきており、今後は、適切な維持管理により長寿命化を図るとともに、更に災害対応力を強化した消防活動が展開できるように施設環境を整備する。また、ゼロカーボンシティを目指し、積極的な省エネ対策も実施していくことで、環境にやさしい持続可能な社会の維持に貢献する施設運営とする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	庁舎建設から9年目を迎え、老朽化による修繕や年間にかかるメンテナンス経費も増加傾向にある。必要性や優先順位を見極めながら、消防活動に支障を生じさせないように維持管理を実施していくため、長期的な見直しを行い、点検やメンテナンスの実施時期や内容を精査するとともに、緊急度を判断し、計画的な予算確保に努め、防災拠点施設として機能維持をはかっているが、加えてますます複雑多様化する災害態様に迅速に対応できる環境の整備にも努めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スマートシティ推進事業(消防団)												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課					所属長	山下明子					
会計情報	事業コード	550258	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	206	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	スマートシティ推進事業(自治会、農区) 避難のあり方検討会モデル実施事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市では、Society5.0社会へ対応しスマートシティを実現することにより、住民福祉や利便性の向上を目指すとともに、withコロナ時代の新しい生活様式への転換を図るため、様々な行政サービスの効率化を進めていく。												
対象者	消防団幹部	対象者数	37	単位あたりコスト	112.9								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山公立大学												
事業概要 (箇条書き)	消防団幹部に対してタブレット端末により、本市からの連絡、情報提供を電子データで送付し、会議においてもWEB会議を推奨し、各種報告等のデジタル化、オンライン化や災害時の情報連携の実証を行う。 ・タブレット講習会(3月13日、3月15日、3月25日実施)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	需用費	337	タブレット画面保護シート、管理用ソフトウェア、本体保護ケース										
	役務費	49	通信料(2、3月分)										
	委託料	165	タブレット講習会										
	備品購入費	2,987	タブレット端末 38台購入										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	679	704				
	② 補正予算	0	3,971	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
	小計(①～③)	0	3,971	679	704				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	679	704				
	② 国支出金	0	3,971	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	3,971	0	0				
	③ 執行額	0	3,538	0	0				
	④ 執行率		89.1%						
人算工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.08 / 0.00	0.08 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	640	640	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,178	640	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマートシティ推進事業(消防団)×過疎地域等自立活性化推進交付金	種類	消防費国庫補助金	実績金額	2,501	決算付属資料	22	頁
		スマートシティ推進事業(消防団)×地方創生臨時交付金		消防費国庫補助金	実績金額	952		22	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		WEB会議実施回数	回		/	0 /	/ 12	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		WEB会議参加率	%		/	0 /	/ 70	
		単位あたりコスト			/	/	/	
		単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	情報通信技術の進歩により、オンライン化・デジタル化を推進し、行政の効率化を図ると共に消防団活動においても多様な活用を目指す。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	本事業は、同様の事業推進を実施する関係課と共同で事業を進め、事務の効率化、備品調達も1本化としたものである。これにより契約のスケールメリットが図られコストの効率化が図られた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	今後においてもコロナ禍は続くものであり、人が集まることを避けること、また、情報通信技術の進歩により遠方まで出向くことなく会議に参加できるなどの有効性が考えられる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	行政サービスのデジタル化に向けた施策の一環としてタブレット端末を購入し、消防団幹部へ貸与。消防団活動におけるWEB会議、電子申請及び災害情報伝達ツールとして効果、課題等を令和4年度まで検証していくもの。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和4年度までのモデル事業においてどれだけの検証が得られるか。タブレット端末を積極的に活用してもらうような市側の情報発信が求められるものである。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事中評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供やWeb会議(消防団の定例会議など)での利用など「利便性の向上」に関して、積極的に取り組んでいる。 タブレットへの資料送付により、事務負担の軽減が図られている。 モデル事業の期間中(～令和4年度)に、課題分析を行うとともに現状以外での利活用方法や他団体との連携活用など新たな展開の可能性と合わせて効果検証が必要である。さらにタブレットの利用率が上がるような様々な角度から検討が必要である。 令和4年度までの実証事業であるので、令和5年度以降の進め方については、予算編成までに然るべき判断材料をもって検討をお願いしたい。
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	モデル事業としての最終年度となることから、事業全体の振り返りを実施し、令和5年度以降についての事業内容に反映させる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防職員高度教育訓練事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課						所属長	山下明子				
会計情報	事業コード	550247	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	消防職員教育訓練事業、新採職員教育事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の強化												
対象者	消防職員	対象者数	4	単位あたりコスト	1,218.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (消防学校や消防大学校等専門教育機関への入校)												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	消防力の強化を図るため、消防職員の高度教育の実施 ・救急救命士養成課程への入校 ・消防大学校各課程への入校 ・各種災害対応技術(山岳・流水など)や緊急車両操作技術向上のための各種講習会の受講 など [令和2年度実績] ・救急救命士養成課程への入校 1名 ・大型運転免許取得 2名 ・京都市消防局 調査鑑識実務研修の実施 1名												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	旅費	328	受験、受講にかかる旅費										
	需用費	234	救急救命士養成にかかる教材費、食糧費、賞与被服										
	役務費	53	受験手数料、免許申請手数料等										
	負担金補助及び交付金	2,168	受講負担金、寮使用負担金										
公課費	9	救急救命士免許申請にかかる登録免許税											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,200	3,119	3,251	3,766	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	3,200	3,119	3,251	3,766		
予算財源内訳	① 一般財源	3,200	3,119	3,251	3,766	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 4	0	0	0	
	② 配当予算	3,196	3,119	0	0	
	③ 執行額	3,155	2,792	0	0	
	④ 執行率	98.7%	89.5%			
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.87 / 0.00	0.26 / 0.00	0.26 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	6,960	2,080	2,080	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,115	4,872	2,080	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	救命士最低配置人員の確保	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100
高度教育修了者業務配置率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	高度教育実施者数	人	8 / 8	9 / 9	4 / 5	6	
	単位あたりコスト		393.8	350.6	698.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	常に最新で高度な消防技術や知識を職員に取得させることで、福知山消防の消防力の維持強化を図り、刻々と変化する災害態様や住民のニーズに適切に対応しなければならない。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	その分野での指導的立場を担う職員を高度教育の専門機関へ派遣し、習得した知識・技術を他の職員に指導することで、全職員が最新の消防技術や知識を習得し、消防組織全体の強化を図ることが可能となっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	救命士や各分野の専門家を計画的に養成することで、消防活動の実施体制の確保と、常に最新の消防知識と技術を職員に教育する体制を維持しており、消防活動・消防業務の質の維持と向上が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度については、目標達成のための予算をしっかりと確保し準備をしていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、受講予定の課程が中止されるなどの影響を受けた。しかし、人員の配置や次年度からの計画を練りなおすことにより体制を維持し、実施された高度教育については計画どおり資格を取得し消防組織の質の維持と強化が図れた。		
これまでの課題及び今後の方向性	住民の生命財産を専門的な知識と技術で守る消防としては、職員の教育訓練の実施は組織の維持と強化にとって絶対的に不可欠である。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度に予定していた職員の教育訓練が実施出来ず、後年度の教育計画において見直しを必要とすることとなったが、目的達成のための体制を次年度に向け立て直し、今後も常に安定した高度教育が実施できるよう、養成計画とそのための人員配置等、教育環境を整えるとともに、個々の職員の能力や業務経験を見極め、将来にわたりその分野において推進的かつ指導的な役割を担うことの出来る職員に対して教育を実施し、研修後の適切な人員配置を実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	当該事業で実施する教育訓練は、新採職員教育事業、消防職員教育訓練事業において実施してきた基礎・実践的教育の上に、更に個々の職員の能力や業務経験を見極め、将来にわたりその分野において推進的かつ指導的な役割を担う職員を育成するために、より高度な教育を実施する事業であり、ますます複雑高度化する災害に対応できる消防組織を作るため、非常に重要な事業である。将来にわたり、計画的に受講体制を確保し、消防力の強化、消防行政の更なる推進を図っていくとともに、これまでの計画的な救急救命士の養成に加え、指導救命士の養成にも取組んでいく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防団施設管理事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課						所属長	山下明子				
会計情報	事業コード	550245	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	206	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和22年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	消防団施設整備事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の生命・財産を守るため、消防団による災害対応を万全なものとし、各地域の消防力の充実強化を図る。												
対象者	消防団員	対象者数	1,651	単位あたりコスト	3.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社かんとーす												
事業概要 (箇条書き)	消防団車庫・詰所の維持管理												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	需用費	3,971	消防団車庫詰所の電気料、上下水道料及び施設修繕費										
	役員費	162	損害保険料、浄化槽検査手数料										
	委託料	61	上川分団1部2班し尿浄化槽清掃及び維持管理業務										
	使用料及び賃借料	10	用地使用料										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,768	4,557	4,574	4,465				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	4,768	4,557	4,574	4,465					
予算財源内訳	① 一般財源	4,768	4,557	4,574	4,465				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	4,768	4,557	0	0				
	③ 執行額	4,121	4,203	0	0				
	④ 執行率	86.4%	92.2%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.19 / 0.10	0.13 / 0.00	0.13 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,770	1,040	1,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,891	5,243	1,040	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
本事業に起因する活動支障発生回避率	指標	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
	実績		/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	管理施設数	件	87	87 /	86 /	/ 86	
	単位あたりコスト		62.7	47.4	48.9		
	実績		/	/	/	/	
単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	消防施設の維持管理は市の義務であり、適切に実施する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設管理について公共施設マネジメント計画に基づいた統合再編等も加味しながら、消防活動に支障のないよう必要最低限のコストによる維持管理を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防団活動に支障をきたすことのないように常に維持管理を適切に図り、活動しやすい環境の整備に努めることで消防力の充実強化を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	現状、消防団活動に大きな支障をきたすような消防施設の不具合は発生しておらず、適切に管理している。		
これまでの課題及び今後の方向性	多くの施設を保有しており施設の老朽化に伴い、不具合が頻発することも考えられる。今後も施設の状況を的確に把握し消防団活動に支障をきたさないよう維持管理に努める必要がある。消防団施設整備事業と連携しながら実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	施設・設備の維持管理においては、常にかかる経費の節減を念頭におくこととするが、老朽化によるメンテナンス等が年々必要となってきた中、必要性をしっかりと精査し、実施手法・内容については、消防団施設整備事業と連携を図りつつ、より効率的でかつ有効的なものを選択し、消防団の活動に支障を発生させることなく適切に実施していくとともに、消防団員の活動環境の改善を図っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防団員報償事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課					所属長	山下明子					
会計情報	事業コード	550239	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	206	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和24年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、消防法、福知山市消防団員等公務災害等補償条例、福知山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	消防団員及び消防作業等従事者に法令により規定する、損害補償を迅速、確実に実施するため予算化を行い、併せて、消防団員の退団に伴う退職報償金の支給についても同様に実施するものである。												
対象者	消防団員、消防作業等従事者	対象者数	78,935	単位あたりコスト	1.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	消防団員及び消防作業等従事者の活動に対する災害補償の実施 長年の消防団活動に対する退職報償金の確実な支給を実施(令和2年度 133人に支給)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	災害補償費	1,847	遺族補償年金										
	報償費	64,062	退職報償金133人、退職記念品										
	需用費	55	感謝状用紙、感謝状印刷										
	役務費	12	郵送料										
	負担金補助及び交付金	45,852	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	65,938	119,792	57,936	111,577			
	② 補正予算	0	△ 6,205	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	65,938	113,587	57,936	111,577				
予算財源内訳	① 一般財源	45,907	46,061	37,889	37,830			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	20,031	67,526	20,047	73,747			
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0			
	② 配当予算	65,938	113,587	0	0			
	③ 執行額	63,540	111,829	0	0			
	④ 執行率	96.4%	98.5%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.35 / 0.00	0.18 / 0.00	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,800	1,440	1,440	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	66,340	113,269	1,440	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	消防団員退職報償金	種類	雑入	実績金額	63,963	44	
		遺族年金		雑入	1,847	決算付属資料	48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
		退職報償金の確実な支給	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	退職報償金の支給	人	155	50	133	/	
	単位あたりコスト		737.1	1270.8	840.8		
	公務災害補償の実施	件	6	1 /	1 /	/	
	単位あたりコスト		19041.0	63539.8	111829.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	法令の規定により消防団員の退職報償金の支払い及び公務災害等補償の実施の為に必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	確実な支給を実施するため、公務災害補償等基金への掛金の支払いを実施している。掛金支払いに関しては前年10月1日の条例定員が基準とされることから、令和3年度の掛金から現条例定員が適用される。(条例定員1780人)
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	公務災害補償等基金への掛金の支払いにより、確実な退職報償金及び公務災害等補償の実施が可能である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	退職報償金及び公務災害等補償は確実に実施出来ている。		
これまでの課題及び今後の方向性	公務災害補償等基金の掛金は条例定員を元に算定されており、消防団員数が減少傾向の中、消防団員確保に努め、条例定員の充足を図る必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防団員訓練事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課						所属長	山下明子				
会計情報	事業コード	550234	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	206	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和22年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	消防団員として、各種の専門的な教育訓練や研修を受けることにより、安全かつ迅速、的確な災害対応能力の向上を図る。												
対象者	消防団員	対象者数	1,651	単位あたりコスト	5.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	新入団員研修・水防訓練の実施(7月19日) 機関員研修会の実施(9月13日) 消防学校教育(未開催) 福知山市消防操法大会(中止)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	旅費	3	京都府消防定例表彰出席旅費										
	使用料及び賃借料	2	高速道路使用料										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	448	1,863	2,207	1,751	
	② 補正予算	0	△ 1,663	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
	小計(①～③)	448	200	2,207	1,751	
予算財源内訳	① 一般財源	448	200	2,207	1,751	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	
	② 配当予算	448	200	0	0	
	③ 執行額	355	4	0	0	
	④ 執行率	79.3%	2.0%			
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.28 / 0.00	1.05 / 0.00	1.05 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	10,240	8,400	8,400	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,595	8,404	8,400	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	各分団教育修了者配置率	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防学校消防団教育入校者数	人	50 / 87	36 / 87	0 / 87	/ 87	
	単位あたりコスト		34.9	9.9			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	全国的に大規模災害が頻発する中、消防団はその機動力、動員力は代替性のない組織であり、これらの活動を根本的に支える訓練事業は不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	消防団幹部に教育訓練を実施することにより、組織全体にその効果を図ることとしているが、教育訓練が実施されなかった点から考えると効率性に欠ける部分も存在する。しかしながら、少ない機会を捉え訓練を実施した意義は大きい。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	コロナ禍により消防学校教育も含め、多くの消防団訓練が中止となった。そのような中でも数少ない機会を捉え、訓練を実施したことから一定の有効性を認める。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度については、コロナ禍により中止となる教育や訓練が多かったが、これまでの消防学校教育及び各種訓練計画の実施により、重大な公務災害が生じておらず、安全な消防団活動が実施出来ている。		
これまでの課題及び今後の方向性	消防団員数の減少、高齢化、就業形態の変化など消防団を取り巻く環境が大きく変化している。このような中、近年の災害は大規模化しており、消防団員に対する教育を充実させ災害活動時における安全確保に努めるところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により十分な訓練が実施出来ないことも予想されることから、感染状況を見定め必要な訓練を実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	危険を伴う現場活動については、知識、技術の習得は必要不可欠である。各種訓練、研修を受ける機会を設け、団員一人ひとりの現場活動能力の向上を図る観点から事業を継続する。また、2年連続新型コロナウイルス感染症の影響により年間訓練計画を実施することが出来なかったことから、コロナ禍においても実施可能な訓練などを計画していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防出初式開催事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課						所属長	山下明子				
会計情報	事業コード	550217	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	204・206	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法、消防法、各種表彰規定												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	消防活動における功績と永年勤続者への功労をたたえと共に、災害の発生を抑制し、その被害の軽減を目指すため、消防出初式を挙行し、消防団員及び消防職員の士気の向上を図るとともに、市民の防火思想の普及を図る。												
対象者	消防職員、消防団員	対象者数	1,781	単位あたりコスト	4.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	消防出初式の実施(1月10日)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	報償費	383	表彰徽章 表彰状及び表彰額										
	需用費	166	消防出初式開催用消耗品										
	役務費	8	郵送料										
	使用料及び賃借料	194	厚生会館使用料 看板賃借料 飛沫防止シート賃借料等										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,076	977	1,090	1,086				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,076	977	1,090	1,086					
予算財源内訳	① 一般財源	1,076	977	1,090	1,086				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,076	977	0	0				
	③ 執行額	1,015	751	0	0				
	④ 執行率	94.3%	76.9%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.54 / 0.00	0.84 / 0.00	0.84 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	12,320	6,720	6,720	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,335	7,471	6,720	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防団員の条例定数に対する充足率	%		82 / 100	80 / 100	93 / 95	/ 95
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防出初式の開催	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		942.0	1014.8	751.0		
	表彰者数	人	388	420 /	355 /	/	
単位あたりコスト		2.4	2.4	2.1			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	消防組織発足以来の伝統行事であり、年頭において防火防災を市民に向けて発信できる場である。 また、消防団員に対して表彰を行い、その実績について讃えるものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事業の内容については、振り返りを実施し、内容、コストについて検討を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	有効性を定量的に示すものがないことから、効果を図ることが難しいものである。しかしながら年頭にあたり、消防職、団員が一堂に会して防火防災を誓う一連の行事であり目的達成に有効な行事である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	安心安全なまちづくりを目指し年頭に、広く防火防災をアピールするものとして、消防出初式の開催意義は大きい。この事業を通じて市民に対して防火防災に取り組む、意識の向上が図れるものとして期待できる。		
これまでの課題及び今後の方向性	消防出初式は、従来より式典とその後のパレードを中心として実施してきたところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで同様の出初式が実施できるかなど検討を行い日頃の消防本部、消防団活動のPRを図れる内容を検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	常備消防、非常備消防が一堂に会し開催する消防出初式は、新年にあたっての恒例行事として、歴史的にも広く一般市民に認知された事業である。消防団員の功績と長年の功労を称えるだけでなく、永年無火災自治会や消防協力に対する表彰を行うとともに、広く市民に消防・防災をアピールすることのできる絶好の機会として今後も実施していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新採職員教育事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課						所属長	山下明子				
会計情報	事業コード	550211	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	202	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	消防職員教育訓練事業、消防職員高度教育訓練事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新規採用職員に対し、消防職員として必要な基礎的な知識・技能を修得させる											
対象者	新規採用職員						対象者数	8		単位あたりコスト	9,370.9	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府立消防学校への入校)											
委託先・実施主体等	京都府立消防学校の初任科・救急科への入校											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	旅費	438	入校にかかる旅費									
	需用費	1,997	入校にかかる教材費、食糧費									
	負担金補助及び交付金	1,252	受講負担金、寮使用負担金									

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,167	4,134	1,316	1,445				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	2,167	4,134	1,316	1,445					
予算財源内訳	① 一般財源	2,167	4,134	1,316	1,445				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	62	0	0	0				
	② 配当予算	2,229	4,134	0	0				
	③ 執行額	2,229	3,687	0	0				
	④ 執行率	100.0%	89.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	4.82 / 0.00	8.91 / 0.00	8.91 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	38,560	71,280	71,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	40,789	74,967	71,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	教育課程修了者率	%	100 / 100	99 / 100	100 / 100	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	必要教育全課程修了者	人	4 / 4	4 / 5	8 / 8	/	3 年度内全課程全員修了
	単位あたりコスト		435.5	557.3	460.9		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	専門性の高い消防業務に従事するために、国の定めた教育課程を修了する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	全国基準に基づき府県単位で設置された消防学校による専門的な教育の受講により効率的な教育が実施されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	法令で定められた教育機関における教育課程を消防職員全員が履修する必要があり、新規採用職員は原則採用直後に履修させる体制をとっており、採用後1～2年でほぼ100%の修了率を達成している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度は特に新型コロナウイルス感染症対策により、例年通りの教育の実施が危ぶまれたが、必要な履修科目等が全て実施され、全員が課程を無事修了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も消防学校での基礎的な教育の受講体制をしっかりと維持し、併せて卒業後のOJTにより消防業務を適切に遂行できる人材の育成に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	消防吏員として業務に就く上で、必要不可欠な教育である。新任者に対する府立消防学校での教育訓練の受講体制については引き続きしっかりと維持しながら、消防吏員としての基礎的な技術や知識を身に付けさせ、更にその後の職場における各種訓練や指導体制についても、消防職員教育訓練事業との連携により充実に回りながら、より実践力の高い職員の育成を行っていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防職員教育訓練事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課					所属長	山下明子					
会計情報	事業コード	550209	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	202	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	新採職員教育事業・消防職員高度教育訓練事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の強化												
対象者	消防職員	対象者数	129	単位あたりコスト	244.0								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府立消防学校等への入校)												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	京都府立消防学校各専科教育課程への入校(特殊災害科/予防査察科/危険物科/幹部科/救助科) 各種資格の取得(玉掛け/小型移動式クレーン/潜水士) その他各種研修・講習会等の受講												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	旅費	32	受験、受講等にかかる旅費										
	需用費	76	受験、受講等にかかる教材費、食糧費										
	役務費	17	受験手数料、免許申請手数料										
	使用料及び賃借料	27	高速道路使用料										
	負担金補助及び交付金	209	受講負担金、寮使用負担金										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	782	842	1,229	1,347	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
	小計(①～③)	782	842	1,229	1,347	
予算財源内訳	① 一般財源	782	842	1,229	1,347	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 48	0	0	0	
	② 配当予算	734	842	0	0	
	③ 執行額	596	361	0	0	
	④ 執行率	81.1%	42.9%			
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	5.82 / 0.00	3.89 / 0.00	3.89 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	46,560	31,120	31,120	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	47,156	31,481	31,120	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	各業務への修了者配置率	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消防学校入校課程数	課程	7 / 7	6 / 6	5 / 6	/ 7	毎年度全課程入校
	単位あたりコスト		81.7	99.3	72.2		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	消防活動の実施に必要な資格、知識の習得のため、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	消防活動や業務に必要な不可欠な資格や知識・技術の習得を教育専門機関で研修することにより、集中的、専門的、効率的に習得している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防活動や業務に必要な不可欠で実践的な資格や知識・技術の習得であり、その成果は消防の各種業務や現場活動において直接的に活かされている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新型コロナウイルス感染症対策のため、府立消防学校の教育『警防科』が中止となり、受講できなかったが、これまで毎年計画的に養成を実施してきていることから、各業務への修了者は目標どおり配置できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も、当該事業において各種養成課程を受講した職員を中心にした指導やOJTを実施する中で、全職員に対し、当該事業における教育効果を十分に波及させ、消防本部全体の能力向上、業務の推進を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	市民の生命財産を守る消防として、職員の教育訓練の実施は絶対不可欠である。態様が年々変化する災害に確実に対応できる職員を育成する上で、当該事業で実施する教育訓練は、全ての職員が身に付けるべき実践的なレベルの教育と位置づけている。災害態様の変化に応じた技術や知識についても常に調査研究、情報収集し、幅広く多くの職員が受研・受講しその知識・見識を広めることのできる体制を整え、加えて受講した職員を中心にした指導体制やOJT、各業務の推進体制の確立など、教育効果を十分に波及させることのできる環境づくりに日々努めている中で、今後も継続して当該事業効果をあげていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防施設管理事業												
事業担当	所属	55010000 消防本部 総務課						所属長	山下明子				
会計情報	事業コード	550203	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	202	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	消防組織法、消防法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	消防庁舎改修事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化												
対象者							対象者数			単位あたりコスト			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	消防活動の拠点となる福知山消防署東分署及び北分署の庁舎施設維持管理												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	需用費	3,924	消耗品費、燃料費、電気料、上下水道料、施設修繕料										
	役員費	973	損害保険料、ごみ廃棄手数料、通信・電話料、点検手数料										
	使用料及び賃借料	411	NHK受信料、複写機等使用料										
	備品購入費	93	庁舎用備品購入費(シュレッダー、消防署旗)										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	6,010	5,225	5,388	5,827			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	6,010	5,225	5,388	5,827			
予算財源内訳	① 一般財源	4,967	4,162	4,323	4,754			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	1,043	1,063	1,065	1,073			
決算情報	① 流充用額	348	177	0	0			
	② 配当予算	6,358	5,402	0	0			
	③ 執行額	6,358	5,401	0	0			
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.30 / 0.00	1.51 / 0.00	1.51 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	10,400	12,080	12,080	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,758	17,481	12,080	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	庁舎管理事業(地方創生臨時交付金)	種類	消防費国庫補助金	実績金額	30	18	頁
		電柱占用料		消防使用料		52	12	
		自動販売機設置貸付収入		財産貸付収入		969	34	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
施設等に起因する活動支障発生回避率	指標	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	分署出動件数(火災・救急)	件	1874	1813	1657	/	
	単位あたりコスト		3.1	3.5	3.3		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	消防救急体制の確保は市町村の義務であり、そのための消防施設の維持管理を適切かつ的確に実施する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	消防施設の適切な維持管理に必要な経費について、その必要性を十分に精査し、職員の創意工夫により安易に業務を委託することなく経費節減を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防活動に支障を来すことのないように常に維持管理を適切に図り、活動しやすい環境の整備に努めることで消防力の維持強化が図れている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	常に迅速な災害対応が実施できるよう、職員による日々の庁舎・施設・設備の維持管理は適切に実施できている。		
これまでの課題及び今後の方向性	消防に対するニーズは社会情勢や自然環境の変化に伴い常に変化し、それに伴い求められる消防活動も変化し高度化するため、その拠点施設である庁舎の適切な維持管理が必要であるが、老朽化の進む庁舎・施設等の今後の在り方として、長寿命化を図るという方向性が一定定まった中、消防庁舎改修事業によりハード面における計画的な施設の補修、改修を行うとともに、常日頃の維持管理をしっかりと行っていくことで、消防活動を円滑に実施するための環境を維持する。また、ゼロカーボンシティを目指し、今後は積極的な省エネ対策も考慮した維持管理について検討を図り、実施していくことで、環境にやさしい持続可能な社会の維持に貢献する施設運営とする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--